

ハーブで体の悩みに寄り添う

フランス流の薬店を開業

頭痛や更年期障害など体調の悩みを聞き取り、一人ひとりに適したハーブや漢方等を販売する薬店「ドラッグストアフィットリート」を今年1月に東京・神宮前にオープンしたのは、薬剤師の梅屋香織さんだ。植物療法の本場フランスで、薬草を販売して街の健康相談所として機能する「エルボリストリ」で培った知識と経験を生かし、気軽にハーブに触れて健康相談できる場を日本にも作る目標を掲げている。

ドラッグストアフィットリート
梅屋 香織さん

若者で賑わう原宿の竹下通りから少し離れたショッピング街のビル1階に入居する同店は、ハーブ、漢方、精油、植物オイル、芳香蒸留水など植物由来の商品を取り揃えている。

ハーブはカモミール、レモンバーベナ、メリッサなど、梅屋さんがフランス在住時代に気に入ったものを中心に計80種類を取り扱い、フランスや日本の薬用植物専門の卸業者から購入している。

現在は梅屋さんとスタッフ1人が勤務し、来店客に気さくに話しかけている。会話を通じて体調に問題はないか、悩みを抱えていないかを観察した上で、一人ひとりに適したハーブを量り売りやブレンドで販売する。店内には、ルイボスティーやたんぽぽコーヒー、生薬も置く。

梅屋さんは、ハーブや漢方などを若年層にも身近



に感じてもらいたいとの思いや、全国からのアクセスの良さを考慮して神宮前に同店を構えた。木目調のカウンター、ハーブの入った木箱など、店内には訪れた人が温もりや居心地の良さを感じられる工夫を施した。

1月26日の開店後、一日当たり10～20人ほどが訪れ、1週間で130人超が来店した。フランス勤務時代からの客も来店し、高齢者から若年層、性別の偏りなく集まった。梅屋さんは、「国内ではハーブは女性のものというイメージが強いが、フランスでは全く異なる。エルボリストリのように、この店もジェンダーニュートラルな場所にしたい」とイメージする。

ストレスによる不眠や、更年期障害など悩みを抱える女性の相談にも応じる。「外見では分かりにくい、持病を抱えている人は多い。病院でカバーできない悩みを相談でき、頼れる場所にしてもらえれば」。医療機関を受診することに気後れする人が気軽に立ち寄れる場を目指している。

(8ページへ続く)

就職準備特集号Ⅱ

発行回数等変更のお知らせ

薬学生新聞の年間発行回数と発行月日を2022年4月以降、次のように変更します。発行回数は年間5回、発行月日は4月15日、6月15日、9月15日、11月15日、1月15日とします。

新卒生限定10泊12日
ハワイ研修実施!

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収

450～550万



希望店舗での勤務OK! 働き方次第で高収入も可能! あなたの頑張りを評価します!

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に130店舗展開中!!

渋谷駅前店・池袋西口店・永田町・中津店
阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店 等

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索

薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314

検索